

お茶の井ヶ田株式会社



代表取締役
井ヶ田 健一 氏

●企業の概要

企業名：お茶の井ヶ田株式会社

代表者：代表取締役 井ヶ田 健一

住所：仙台市青葉区大町二丁目7番23号

設立年：昭和52年（創業：大正9年）

業種：茶・菓子小売業

資本金：50百万円

従業員数：684名

●事業の概要

大正9年、製茶業として創業。昭和52年に井ヶ田製茶株式会社より卸小売部門が独立し現在に至る。茶葉・茶道具販売から菓子製造販売や飲食部門に進出し、お茶をテーマにした複合施設「喜久水庵」を宮城県中心に東日本で50店舗以上を運営。「仙台初売り」の伝統を守る一方で、平成26年7月には秋保地区に物産館「秋保ヴィレッジ」を開業し、中山間地の地域活性化にも積極的に取り組むなど、新しいビジネスモデルに挑戦する老舗企業。



本社

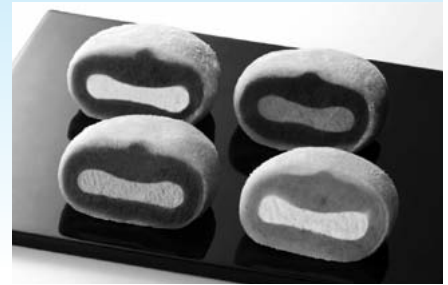


一番町本店

お茶をテーマにした新業態である複合施設「喜久水庵」を開発し運営、「仙台初売り」の文化を継承しつつ新しいビジネスモデルに挑戦する老舗企業



喜久水庵 南仙台本店



喜久福



煎茶 粟ヶ岳



秋保ヴィレッジ アグリエの森

●受賞の理由

「自然の恵みと日本文化の香りを大切に 心豊かな和み溢れる絆を創り続ける私たちでありたい」を経営理念として、茶・菓子小売を扱う複合施設「喜久水庵」などを中心に事業を展開。お茶を用いた菓子の製造販売は一般的になっているが、飲食・甘味などとの複合施設は当社が開発した新しい業態である。平成8年に第1号店を開店して以来高い人気で、その後県内中心に「喜久水庵」を展開、ショッピングセンターへの「喜久水庵」「茶寮kikusui」などの出店も手伝い、現在では57店にまで急成長した。商品開発力にも優れており、主婦層をターゲットにしたモニタリングで顧客のニーズに的確に対応し、その中から抹茶クリームと餡を包んだ大福「喜久福」、抹茶生クリームを包んだどら焼き「どら茶ん」など多数の人気商品を開発し、いずれも高い評価を得ている。

雇用においても、グループ企業含め750名ほどの従業員を雇用、新卒も大学卒、高校卒を定期採用しており、地域への貢献度は極めて高い。

藩政時代から続く仙台伝統の行事である「仙台初売り」の文化を継承、豪華景品「茶箱」で毎年全国に報道されるなど地元経済振興の一翼を担い、仙台商人の知名度向上の立役者として活躍している。

平成26年、東北有数の温泉地の一つである仙台市秋保地区において、物産館「秋保ヴィレッジ」を開設し、温泉という観光資源と地元農産物を融合させることで、将来にわたりにぎわいを創り出す事業を開始。農業生産効率では不利と言われる中山間地において、農産物の販売を促進する拠点づくりと同時に美しい田園風景を維持し、また小中学生向けに農業体験ができるような施設をつくるなど、若い人材が農業に取り組める環境を整備。秋保地域の活性化と新規事業に挑む姿勢は高く評価できる。

当社は、「お茶」を通じた新しいビジネスモデルの確立と伝統継承、地域の活性化を意識した新しい挑戦への取り組みなど、その姿勢は高く評価でき、今後一層の活躍が期待できる企業である。